

# 身高 Dream Project

## 産業社会と人間

1年次生は、「夢の発見」のために「産業社会と人間」履修します。様々な職業について学び、インタビューや発表を通して社会人として基礎的な力を育成します。

7月から夏休みにかけては「職業人インタビュー」を行います。生徒だけで事業所にアポを取るから始め、訪問前には質問事項を検討し模擬インタビューなども行います。電話やオンラインでインタビューを行う生徒もいます。プロの方に直接お話を聞くことで、興味・関心を持つ職業に対する理解を深めるとともに職業観を養うことにつながります。



## 進路ガイダンス

6月9日に全年次で、進路ガイダンスを行いました。1年次は進路に悩む高校生を描いた寸劇による進路ガイダンス、および各クラスごとの進路講話を行いました。2・3年次は進学希望者と就職希望者に分かれ、それぞれの進路に向けたガイダンスを受けました。2年次は学科・学校の特徴や仕事のやりがい、就職に向けて準備をする事などを学びました。また、3年次は上級学校や就職先に向けての志望理由書の書き方について講師からアドバイスをもらいました。



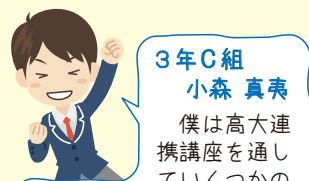
## 高大連携講座

5月28日(土)に高大連携講座では身延町役場生涯学習課主催の「みのぶ道歩こう」ワークショップに参加しました。古道「みのぶ道」について、身延の歴史文化を研究している学芸員の方に、歴史や伝説を解説していただきながら歩きました。山道には国の重要文化財をはじめ様々な文化財があり大変貴重なフィールドワークを経験することができました。



### 2年C組 片平 志季菜

私たちは、この高大連携講座の活動を通して、身延の様々なことについて知る事ができました。昨年度の活動から、観光について調べています。この活動のおかげで私は「みのぶ道」を初めて知る事ができました。3月末には調べた内容を役場の方々をはじめたくさんの方に発表し、町の活性化について提案しました。今年の高大連携講座でも、観光について取り組んでいます。私たち若い世代がもっとたくさん意見をだし、それを地域に伝え色々な活動につなげていくことが町の活性化につながると思います。これからも様々な意見やアイデアを出し、共有し合うことで身延町の魅力を工夫して発信していきたいと思っています。



### 3年C組 小森 真希

僕は高大連携講座を通していくつかの事を学ぶことができました。一つは仲間と協力することです。高大連携講座では身延町の活性化について考え、どうすればいいかを話し合い、調べて、発表します。その中で一人一人の意見がとても大切になります。さらにやることを分担することで、より良い物を作り上げることができました。二つ目はポジティブな考えを持つことです。身延の観光について調べていくと様々な課題点も出てきました。私たちはこのことについて、そこからどうすればよい方向につなげていけるかを積極的に考えて取り組むことができました。

## 今後の高大連携事業について

身延の観光資源の掘り起しを軸にしながら、様々な先行事例研究やフィールドワークを通じて、活動をしていきます。〈歴史〉〈宿泊施設・移住促進〉〈アクティビティ提案〉〈土産品・産業〉と分野を分けて研究を深めていく予定です。

# SHINKO 身高VIEW

Vol.22  
2022.August  
MINOBU  
HIGH SCHOOL

## 夏の学生生活充実号



## 身延の熱き魂が日本をアツくする





# 笑顔輝く身高生!大活躍!

## 野球部

身延高校の野球部は現在、学生コーチ1人、選手22人、マネージャー2人で活動しております。また、中でも10名の寮生が、親元を離れ日々の勉学・練習に励んでいます。今年の夏の大会でも野球部員達が活躍し、夏の大会では9年ぶりのベスト8を達成しました!

また、今年の大会では選手宣誓をキャプテンの平田くんが行いました。聞く人の心に残る素晴らしい宣誓でした。

第104回  
全国高等学校野球選手権 山梨大会  
2回戦 身延 8 - 1 都留興譲館  
3回戦 身延 9 - 0 都留  
準々決勝 身延 1 - 8 東海大甲府



今年の大会では2年ぶりに生徒の野球応援が可能になりました吹奏楽部と有志で募った生徒で吹奏楽団を結成し、生徒会と共に野球応援を行いました。臨時で結成したとは思えない一体感で応援を盛り上げました。



## 野球部キャプテン・学生コーチ 3年C組 平田 真樹 (身延中学校出身)



Q なぜ学生コーチになろうと思ったのですか。

A 中学2年の終わりから中学3年になる頃、他の学校の野球部の先生が審判をしているのを見て、憧れました。そして受験期に身延高校野球部の先生が中学校に話をしに来て、「学生コーチでサポートしながら審判を目指す道もある」ことを知り、学生コーチになろうと思いました。

Q 学生コーチとして苦労したこと、頑張ったことは何ですか。

A 選手ではないため、他の選手にどんな風に声をかけようかと考えてきました。また、最初の頃はノックで生きた打球が打てなかったので練習をして、だんだんと打てるようになりました。

Q 3年生は今年引退となりますが、野球部での経験を今後どのように生かしていきたいですか

A 野球部で時間の使い方や社会に出た時のマナー、日常での考えなどをたくさん学んできたのでそういうことを有効的に使って生活するようにしていきたいです。特に大切な人が何をしてほしいのか、「これをしたらこうなるな」などの「未来予測」をしながらい行動していくようにしたいです。

Q 身延高校野球部の魅力を教えてください。

A 他校の野球部はしっかりとした上下関係があるように思えます。しかし、当校は上下関係が必要な所ではしっかりと区別しますが、基本的にはフラットで親しみやすい雰囲気で行っているため、1年生が入ってきてもすぐに馴染めるし絆も深められると思います。

# 第73回 身高祭

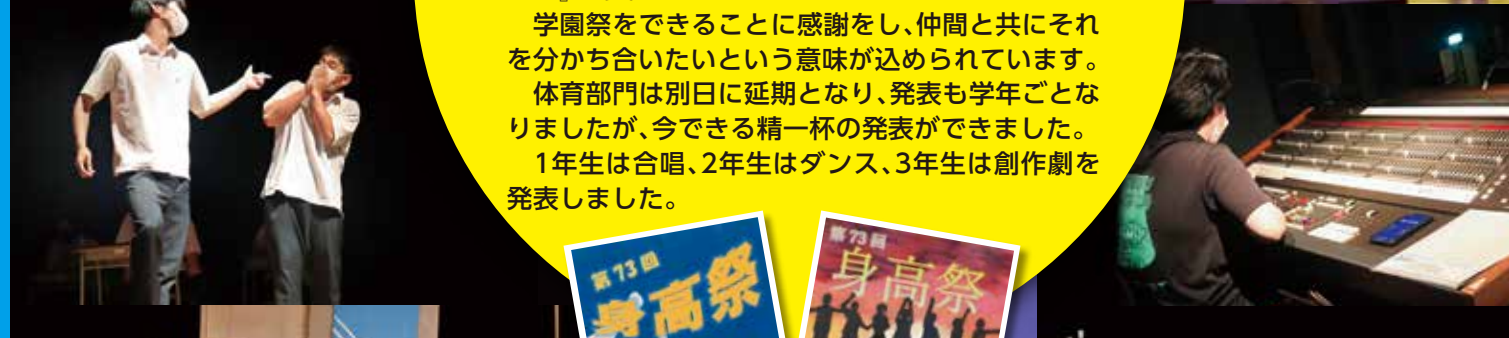
文化部門のみ実施

6月29日(水)に文化部門の発表が行われました。今年のテーマは「Thank granted～仲間たちと共に～」です。

学園祭をできることに感謝をし、仲間と共にそれを分かち合いたいという意味が込められています。

体育部門は別日に延期となり、発表も学年ごととなりましたが、今できる精一杯の発表ができました。

1年生は合唱、2年生はダンス、3年生は創作劇を発表しました。



## 生徒の声

各学年で1位となったクラスのHR長と生徒会からコメントを頂きました。

1年A組 HR長 若林 雅斗 (南部中学校出身)

少ない練習時間でパートごとに分かれて一生懸命に取り組みました。全体練習だと息が合わないこともありましたが担任の先生が指揮してくれたおかげで、楽しく合唱ができました。



3年B組 HR長 金丸 凜祐 (田富中学校出身)

クラスの全員が各々の役割をしっかりとこなしていました。クラスメイトが作った劇の脚本も素晴らしく、本番では楽しみながら劇ができたと思います。



2年C組 HR長 仲尾 歩華 (南部中学校出身)

練習中に話を聞いてくれない、人数がそろわないなど、苦労することもありました。しかし、発表では皆で協力し、クラステーマ「smile」の通り笑顔でC組らしさを表現できました。



生徒会 副会長 佐野 栞菜 (身延中学校出身)

限られた時間の中で生徒会とクラス活動の両立をすることや直前での内容変更には苦労しました。しかし、お互いにコミュニケーションをとり、1人1人が見通しを持って、臨機応変に動けるよう頑張りました。

